

第11回 医薬品セキュリティ研究会フォーラム

**ネット社会におけるオークション・SNS等の  
偽造品/模倣品の脅威と対策**

2023年8月25日（金）13：00－17：05

きゅりあん（品川区立総合区民会館）第2講習室

**抄 録**

(一般社団法人) 医薬品セキュリティ研究会第 11 回フォーラム

「ネット社会におけるオークション・SNS 等の偽造品/模倣品の脅威と対策」開催に当たって

2019 年末に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックの裏で、予防・治療を謳う偽造品や詐欺品が横行し国際的な規制当局は警戒、取締を強化しました。また、新型コロナウイルス禍で拡大した電子商取引 (EC) により現物を確かめずに購入する機会が増え、様々な企業にとって偽ブランド品などの模倣品対策が急務となっています。さらに進歩が著しい人口知能 (AI) の普及により、医療や科学の飛躍的な発展が期待される一方、偽情報が氾濫し、医薬品などの医療関連製品や医療そのものを、偽情報から保護しなければならない時代になりました。急激に拡散する偽情報と闘いながら、真正な製品を必要とする人に確実に届け、適切に使用される社会を守らなければなりません。製品の真正性の保証はもとより、関連する情報や周囲の環境も確かなものでなければなりません。医薬品のセキュリティがこのような広い角度から求められることは、当研究会が発足した 10 年前の予想を超えるものです。伝統的な偽造薬出現の抑制に留まらず、AI 社会において真正品を確実に患者に届け、適正に使用されることを確保する技術情報の交換や支援に視野を広げて参りたいと考えております。

平成 25 年 3 月に開催された日本薬学会のシンポジウム「偽造医薬品の最前線－忍び寄る脅威との戦い」において、偽造医薬品に関わる規制当局、国際的取締機関、製薬企業、防止技術開発企業、アカデミアが一堂に会し、偽造医薬品の実態と対策について議論致しました。このシンポジウムの成功から、偽造医薬品への継続的取組みが必要と考えられ、製薬企業、流通業界、防止技術開発企業、アカデミア、公的セクター等がオープンに議論し、情報交換し、偽造医薬品防止技術の開発・利用の促進に資するとともに世界とも連携することを目指して、日本薬学会シンポジウムのオーガナイザーが中心となり、平成 25 年 9 月 2 日に一般社団法人医薬品セキュリティ研究会としてスタートしました。

第 1 回フォーラム (平成 25 年 9 月)「偽造医薬品と闘う技術の最前線」を皮切りに、第 10 回フォーラム (令和 4 年 8 月)「サステナビリティ実現のための偽造医薬品対策」まで毎年、官公庁、国際機関、製薬企業、流通関連企業、技術開発企業、第三セクター、アカデミアそれぞれの立場から取組みをご紹介頂き、意見交換や協力醸成が行われました。

第 11 回 (令和 5 年 8 月)は「ネット社会におけるオークション・SNS 等の偽造品/模倣品の脅威と対策」と題し、すっかり日常生活に入り混んでいるインターネット上のコミュニティサイトを利用した偽造品の実情とその対策についてご経験、ご見解を交換し、防衛・対策強化に役立つことを図っております。良品質の医薬品やワクチンの確保は SDGs や ESG の達成に不可欠です。

本研究会の活動を継続的なものにするために、医薬品セキュリティ研究会の会員募集を引き続き行っております。会員間の情報共有、偽造医薬品対策のレベルアップを目指して参りますので、奮ってご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

謹白

令和 5 年 8 月吉日

(一般社団法人) 医薬品セキュリティ研究会

代表理事 木村 和子

(金沢大学・名誉教授)

<プログラム>

---

◇ 13:00～13:10 第11回医薬品セキュリティ研究会フォーラム開会挨拶

---

木村 和子（一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 代表理事）

---

◇ 13:10～13:30 講演 1

---

ー ネット社会における医薬品を取り巻く話題 ー

講演者：吉田 直子（金沢大学 医薬保健研究域附属 AI ホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター助教  
一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事）

---

◇ 13:30～14:05 講演 2

---

ー 東京都における無承認無許可医薬品/偽造医薬品対策について

（ハーボニー配合錠偽造薬事件も含めて） ー

講演者：渡辺 大介（東京都 保健医療局健康安全部 薬事監視担当課長）

---

◇ 14:05～14:40 講演 3

---

ー EC サイトによる模倣品販売の対策事例について ー

講演者：春日 慎也（ロート製薬株式会社 知財・ライセンス戦略部 部長）

---

◇ 質疑応答（14:40～14:50）

休 憩（14:50～15:00）

---

◇ 15:00～15:35 講演 4

---

ー 機能性を有する食品の偽造品について ー

講演者：秋山 芳広（大塚製薬株式会社 信頼性保証本部 総括製造販売責任者）

---

◇ 15:35～16:10 講演 5

---

ー 不正流通抑止、偽造対策、トレーサビリティ提供のシステムについて

ー 個品管理・人工物メトリクス技術（SAMP）との連携ソリューションの紹介 ー

講演者：楯野 高弘（小林クリエイティブ株式会社 地域戦略事業部 営業推進部 流通企画課 課長代理）

---

◇ 16:10～16:45 講演 6

---

ー ブランド模倣対策のご紹介 ー

講演者：高木 俊明（パナソニック IP マネジメント株式会社 商標・意匠部 ブランド課 課長）

---

◇ 質疑応答（16:45～16:55）

---

◇ 16:55～17:05 第11回医薬品セキュリティ研究会フォーラム閉会挨拶

---

牧野 智成（一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会 理事）

---

講演：1

演題：ネット社会における医薬品を取り巻く話題

講演者：吉田 直子

所属：金沢大学医薬保健研究域附属 AI ホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究開発センター 助教 / 一般社団法人医薬品セキュリティ研究会 理事

#### 講演要旨

ソーシャルネットワーキングサービス (social networking service, SNS) は、インターネットを通じて他者とコミュニケーションをとるプラットフォームであり、私たちの日常生活の中で広く活用されている。一方で、SNS が情報の過剰な拡散を招いていることも事実である。また、SNS を介して、個人が商品を手軽に売買することが可能となり、その一部は不適切な取引の温床となることが懸念されている。SNS を介した医薬品等の個人間取引もその一つであり、業としての隠れ蓑になっている可能性が指摘されている。SNS を介して取引される医薬品等は、正規流通経路を逸脱していることから、当然、適切な保管状態は保障されず、低品質医薬品や偽造医薬品の混在リスクも孕む。これまでに、向精神薬等の個人間取引が疑われる投稿が SNS 上で散見されている他、2022 年には、SNS を介して入手した食品に見せかけた未承認医薬品による健康被害事例が報告された。SNS 等を介した医薬品等の不適正流通抑止は喫緊の課題であり、国民の保健衛生上の危害を未然に防止するため、SNS を介した医薬品等の個人間取引について、積極的に監視指導を行うことが必要である。我々は、より効果的な監視手法の開発に資するため、日本国内で利用されている代表的な SNS の一つである Twitter における医薬品等の取引実態を調査した。その結果、向精神薬の他、鎮痛薬、鎮咳薬、アレルギー疾患治療薬等濫用が懸念される医薬品の個人間取引が多く持ち掛けられている実態が明らかとなった。これらの取引で海外から発送されると、個人輸入となり、向精神薬の場合、取引する側も麻薬及び向精神薬取締法に抵触する可能性がある。これらの実態を受けて、我々は、消費者に向けた注意喚起が急務であると考え、積極的な情報発信に努めている。本日は、SNS を介した医薬品の個人間取引実態についてお話するとともに、多様化するネット社会における医薬品セキュリティ対策について考える機会としたい。

#### 謝辞

SNS サイトを介した医薬品等の取引実態調査にあたり、多大なご協力とご支援を賜りました一般社団法人偽造医薬品等情報センターのみなさま、IBM Japan 山口翔平様ならびに山口典江様、Math Works Japan 田口美紗様ならびに加藤徳久様に心より感謝申し上げます。

本調査は、令和 2-5 年度厚生労働科学研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)「医薬品等のインターネット販売に対する監視手法の研究」(21KC1007)の一部として実施されたものです。

講演：2

演題：東京都における無承認無許可医薬品/偽造医薬品対策について（ハーボニー配合錠偽造薬事件も含めて）

講演者：渡辺 大介

所属：東京都保健医療局健康安全部薬事監視担当課長

#### 講演要旨

東京都保健医療局健康安全部薬務課では医薬品に関する健康危機から都民を守るためにさまざまな対策を行っています。

当日は、無承認無許可医薬品や偽造医薬品を市場から排除するために行っている施策及び平成29年1月に発生したハーボニー配合錠偽造医薬品事件等の東京都の対応について説明します。

講演：3

演題：ECサイトによる模倣品販売の対策事例について

講演者：春日 慎也

所属：ロート製薬株式会社 知財・ライセンス戦略部 部長

#### 講演要旨

模倣品対策は“いたちごっこ”でキリがないとも言われ、費用対効果の面から疑問視されることも多いですが、放置しておけば被害は拡大するばかりで、取り返しのつかないことになる場合もあります。本物だと思って購入し、期待する効果が得られなかったり、健康被害を引き起こすことも考えられ、結果として情報が拡散し、お客様のブランドや企業に対しての信頼低下を引き起こし、企業価値を落としていきます。

今回、我々が販売しているロングセラーブランドの中で、発売当初は売切れが続き、フリマサイトにおいても高額で出品され、インバウンドでも人気の製品である「メラノCCプレミアム美容液」で発生した事例になります。

本件は1件のネット上の投稿から始まりました。営業担当者からネット上に「偽物かもしれない」という投稿があると情報提供がありました。同時期にお客様サポートセンターに「液が出ない」というお問い合わせもあったことが分かりました。1件のネット投稿で動いて良いのか社内でも悩ましかったところがありましたが、この状態が拡大し、お客様が誤って偽物を購入され健康被害が起こらないためにも早期の対応が必要と考え、社内関係部門と対策検討を行いました。対応策としては社内で行うこと、社外に頼ることに分け、同時並行で行いました。社内ではまずお客様に注意喚起を行うこと（リリース）、それに対するお客様からの問い合わせ体制を整えることを行いました。一方社外においては、厚生労働省、警察、税関、各ECサイト運営会社に対して相談を行いました。その結果2022年6月から対応を進め同年11月に容疑者が逮捕され、2023年3月に起訴されました。時間はかかりましたが、今後の模倣品販売の抑止にもつながると信じています。最後に今回、模倣品対応に関する取り組み内容を紹介させて頂くことで、皆様の参考の一助になればと思います。

講演：4

演題：機能性を有する食品の偽造品について

講演者：秋山 芳広

所属：大塚製薬株式会社 信頼性保証本部 総括製造販売責任者

#### 講演要旨

大塚製薬(株)では、医薬品関連事業とともに、ニュートラシューティカルズ関連事業を持っており、医薬品関連事業が疾病の診断から治療までを担うのに対して、ニュートラシューティカルズ関連事業では日々の健康維持・増進をサポートする製品の提供も行っております。

エクエルは、ゆらぎ世代の女性の健康と美をサポートすることを目的とし、大豆と乳酸菌で製造したエクオールを用いた製品であり、医療機関・調剤薬局（対面販売）と、大塚製薬の公式通信販売サイトのみで販売しているものでした。

ところが、2021年5月にフリーマーケットサイトで偽物らしいパウチ包装のエクエルが販売されているとの情報が入りましたので、お客様の安全のために徹底した注意喚起と、偽装品関与者への妥協をしないことを前提として社内関係者全体で取り組むことにしました。

偽造品を入手して、相違点を明らかにして一般消費者向けの注意喚起を行うことに加えて、プラットフォームや流通、当局への対応も行うことで沈静化をはかることができました。

現在、あらたな偽造品が出現し、継続関係各所と対応中ではありますが、関係当局への情報提供と法的手段を含めた対応を進めてまいります。

講演：5

演題：不正流通抑止、偽造対策、トレーサビリティ提供のシステムについて

－個品管理・人工物メトリクス技術(SAMP)との連携ソリューションの紹介－

講演者：櫛野 高弘

所属：小林クリエイト株式会社 地域戦略事業部 営業推進部 流通企画課 課長代理

#### 講演要旨

弊社は、印刷会社として、企業活動において必要不可欠な請求書や納品書、通販関連の企業にて利用される配送伝票や明細書、自治体で用いられる住民票や印鑑登録証明書などの各種証明書用紙、スポーツ興行で使用するチケット・金券などの製造・販売を行ってまいりました。また、上記に関連して、帳票への印字・封入封緘・発送といった、お客様業務を代行するBPO分野にも取り組んでおります。

各種証明書用紙やチケット、金券のようなセキュリティを求められる印刷物を取り扱うにあたっては、様々な印刷加工技術を組み合わせた偽造防止技術が必要となります。また、お客様の業務を代行するにあたっては、確実に業務を行うためにバーコードやQRコードといった自動認識技術を活用して品質を担保してまいりました。この様な形でノウハウを蓄積し、セキュリティ対策に対して取り組んできました。

近年、主に理美容製品を取り扱っているお客様を中心に、通販における「不正流通」に関するご要望をいただくことが多くなり、従来のセキュリティ機能付きの印刷物や自動認識活用ノウハウの提供だけでは対策が難しい場面が出てきたため、独自のシステムを開発・提供するに至りました。

本講演では、不正流通の概要や実際の事例、よく用いられている対策、弊社のこれまでの不正流通への取り組み事例についてご紹介し、先般リリースした不正流通対策ソリューション「KC-TRACE」および、シヤチハタ株式会社様が提供されている人工物メトリクスを応用した認証技術「SAMP」との連携についてご紹介いたします。



講演：6

演題：ブランド模倣対策のご紹介

講演者：高木 俊明

所属：パナソニック IP マネジメント株式会社 商標・意匠部 ブランド課 課長

#### 講演要旨

パナソニックグループでは、模倣品のない世界を目指し、グローバル規模で模倣品を排除する様々な活動を実施しております。

昨今、模倣品販売の主戦場がEコマースとなっているため、2018年よりEコマースへの対策を強化してまいりました。さらに、模倣品販売がSNSにも広がっている状況を踏まえ、2021年よりSNSへの対策も強化してまいりました。

模倣品のない世界を実現するにはまだまだ道半ばでございますが、社会全体や業界全体で解決すべき課題でもあり、このたび貴重な機会を頂きましたので、パナソニックグループの取組み姿勢や活動内容等を紹介させていただきます。

第 11 回医薬品セキュリティ研究会フォーラムの開催にあたり  
以下の企業・団体からご協賛頂きました

- ・ **ギリアド・サイエンシズ株式会社**
- ・ **公益社団法人 日本薬剤師会**

## 令和5年度 医薬品セキュリティ研究会 構成員

2023/8/1 現在

### 【役員】

代表理事	木村 和子	金沢大学(名誉教授)
理事	猪狩 康孝	ささえあホールディングス株式会社
	大箸 義章	中外製薬株式会社
	牧野 智成	シヤチハタ株式会社
	吉田 直子	金沢大学
監事	樋口 雅義	中外製薬株式会社

### 【会員】

名誉会員	水野 誠	
正会員	木村 和子	金沢大学(名誉教授)
	猪狩 康孝	ささえあホールディングス株式会社
	シヤチハタ株式会社	
	武田薬品工業株式会社	
	中外製薬株式会社	
法人会員	株式会社ILファーマパッケージング	
	朝日印刷株式会社	
	アストラゼネカ株式会社	
	大塚製薬株式会社	
	協和キリン株式会社	
	ギリアド・サイエンシズ株式会社	
	塩野義製薬株式会社	
	住友ファーマ株式会社	
	株式会社タカラ	
	株式会社マイクロ・テクニカ	
個人会員	石原 由紀夫	
	大箸 義章	
	西島 正弘	
	福岡 隆夫	
	吉田 直子	

(順不同)